

マニュアル ズームレンズ取り扱い方法

※この取り扱い方法は下記の4機種が共通です。

HZCH08551	1/2型 8.5—51mm F1.2 Cマウント
MZCH12575	2/3型 12.5—75mm F1.8 Cマウント
MZCH11110	2/3型 11—110mm F1.8 Cマウント
VZCH16160	1型 16—160mm F2.0 Cマウント

1.レンズとカメラの取り付け

Cマウント(フランジバックは17.526mm)仕様ですのでCマウントカメラにご使用ください。カメラへ装着し時計回りに止まるまでまわしてください。CSマウントカメラを使用のときは別売りのCSマウントアダプターをCマウントに装着してからご使用下さい。

※レンズの位置調整

カメラにレンズを装着すると、レンズの指標が下に向いてしまうなどずれることがあります。これを修正する為に以下の調整を行います。

HZCH08551、MZCH12575	マウントスリップ機構が付いていますので、マウントを時計回りいっぱいに締めた後、反時計方向に回して位置調整ができます。
MZCH11110、VZCH16160	この2機種はマウントスリップ機構が付いておりませんので、付属調整レバー(図1)を使用し調整します。レバーでマウント押さえ(図2④)を緩め、レンズの位置調整ができます。位置調整後はレバーでマウント押さえを締めます。




図 1

※マウントスリップ機構とは
レンズ本体の向きを変え易くする機能で、カメラに装着した状態で約1周レンズを回せます。

2.操作

- ① フォーカス 時計回りでストップしたところが無限位置です。
反時計回りで近距離のフォーカス調整ができます。
- ② ズーム 時計回りでストップしたところが最広角の位置になります。
反時計回りに回しますと望遠になります。
- ③ アイリス 時計回りでストップしたところが絞り羽根が完全に閉じられた位置です。
反時計回りに回しますと絞り羽根が開きます。



図 2

3.ズームレンズとカメラのフランジバックの微調整

カメラによってフランジバックがあっていない可能性がある為、広角端、望遠端またズーミング途中でもピントがずれないようにカメラのフランジバック調整が必要です。以下の手順で調整します。

- 1 ズームレンズ、カメラとモニターをセットしてください。
- 2 レンズと撮像物体間の距離を5m以上とってください。
- 3 アイリスはNDフィルターで調整、もしくは暗い被写体を映すなどして開放するようにしてください。
- 4 フォーカスは無限位置に、ズームは広角位置にセットしてください。
- 5 カメラ側のフランジバックをモニターの画像のピントが合うように調整してください。
- 6 ズーミングを望遠端位置にして、フォーカスを調整してください。
- 7 ズーミングの全域でピントが合うように4から6を繰り返してください。
- 8 これで全てのズーム位置でピントが合うようになります。広角端から望遠端までズーミングしてピントが合うかどうかを確認してください。

※マクロ機構（MZCH12575のみ）

MTCH12575にはマクロ機構が付いています。通常、物体間距離の最短フォーカス位置は1mですがマクロボタン(図3)を押しながらズームレバーを回すことにより物体間距離0.2mまでフォーカスすることができます。この場合ズーミングは出来なくなります。

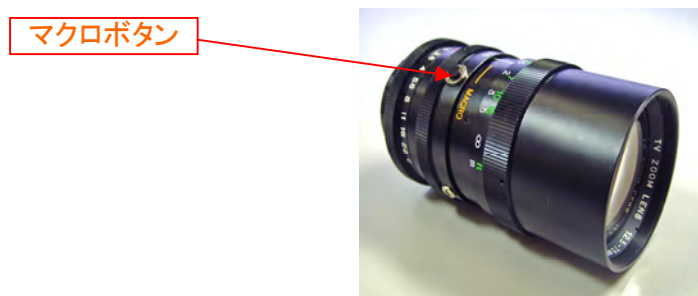


図 3